

No. 205	名称 どりつきゆうほうだいいちれんたいせんぼつえいれいのひ
不明	独立臼砲第一連隊戦没英霊之碑

建立年月日 1981(昭和56年)年8月	改修・移設等歴 —
-------------------------	--------------

所在地番 糸満市字摩文仁ハンタ原547	座標 26.09111000	地目 原野	地積 (㎡) 44,296.00
------------------------	-------------------	----------	---------------------

規模 (幅M×奥行D×高Hcm)
 [主碑] 全体:308*280*300、碑身:45*45*150 / [戦没者名記碑] 全体:267*37*161

素材
 【主碑】碑身:黒御影石磨き仕上、上台・中台:鉄筋コンクリート造+細粒黒御影砂利洗出しタイル張り、下台:鉄筋コンクリート造+角岩張り / 【香炉】鉄筋コンクリート造+桜御影石磨き仕上タイル張り / 【戦没者名記碑】碑身:御影石割り肌仕上+正面嵌込み[黒御影石磨き仕上]、台座:鉄筋コンクリート造+角岩張り / 【庭】コンクリート / 【囲い】コンクリート

建立者 独立臼砲霊之碑建立委員会・独立第一連隊戦友有志一同	管理者 不明
----------------------------------	-----------

碑文等

【主碑】
 <前面> 独立臼砲第一連隊戦没英霊之碑

<下台前面> 独立臼砲第一連隊歴史 / 独立臼砲第一連隊は昭和十五年八月満州公生嶺にて対ソ作戦に備えての特殊兵器を装備した秘密部隊として創設されたものであります。 / 昭和十七年九月三ヶ月中隊からなる独立一大隊を編成ガダルカナル島攻略戦に出陣、在「ガ島」師団指揮下に入ったが、参戦の機会を逸したまま、終戦までラバウル方面の戦備に任じた。一方連隊主力は、昭和十九年八月本土防衛の第一線、沖縄作戦に出陣した。又、残留部隊は独立臼砲第二十三大隊を編成、昭和二十年四月濟州島防衛に趣き此の地で終戦を迎えた。 / 沖縄作戦に参加した連隊主力は現地入隊兵を併せ第三十二軍直属球三六六六部隊となり現地防衛隊、他学徒献身隊の参戦協力を得て、昭和二十年四月一日米軍上陸を迎撃敢闘三ヶ月に及ぶ激戦の末我が臼砲連隊は、六月十六日をもって組織的戦闘行動に終止符をうったのであります。 / この慰霊碑は独立第一連隊に関係ある沖縄戦・ラバウル・他太平洋戦争に従軍し散華した戦友の英霊を合祀し合同慰霊碑として建立しました。 / 尚、この慰霊碑は我が臼砲連隊の秘密兵器九八式臼砲実物大原型に基づいて碑石を彫し建立しました。 / 昭和五十六年八月 / 独立臼砲慰霊碑建立委員会 / 独立第一連隊戦友有志一同

【戦没者明記碑】
 <前面> 独立臼砲第一連隊戦没者県別一覧表 / [略]

写真

